

コミュニケーション

Communication

1 単位 (必修)

中野 政男・非常勤講師

【授業目的】工学技術者に要求される情報活用能力，コミュニケーション能力の基礎を身につける。

【授業概要】専門領域に亘る「情報を上手く入手し整理する仕方」について，講師の経験を交えて説明し，実習を通して習熟を図る。また，人との話し合いにおいて，成功の大きな要素である「笑顔で自分から情報を発信することの大切さ」を身に付けるとともに，コミュニケーション能力の基礎の習得を図る。

【キーワード】情報活用能力，コミュニケーション，笑顔

【先行科目】『電子計算機概論及び演習』(1.0)

【履修要件】特になし。

【履修上の注意】笑顔へのいざない，インターネットの使用

【到達目標】

1. 科学文献・情報検索技術の修得 (授業計画 5-8).
2. コミュニケーション能力の基礎を身に付ける (授業計画 1-4).

【授業計画】

1. コミュニケーションの基本
2. コミュニケーションの実際
3. 笑いの効能，体験
4. 自分スタイルの確立/EQ 診断他
5. 科学技術文献検索の仕方/STN, J-Dream, 特許, インターネットなど
6. 検索実習/科学文献および特許検索など
7. 情報の整理活用術/Excel, カードなど
8. レポート
9. 試験

【成績評価基準】出席率 80%以上で，到達目標 2 項目が各々 60%以上達成されている場合をもって合格とする。達成度は発表 (30%)，レポート (40%)，試験 (30%) で評価する。

【JABEE 合格】成績評価と同じ。

【学習教育目標との関連】本学科教育目標 (A), (B), (C), (D) に対応する。

【教科書】教材はその都度提供する。

【参考書】

- ◇ 林 香都恵 「ビジネス・コミュニケーション」生産性出版 2006
- ◇ 野口吉昭編，HR インスティテュート著 「コミュニケーションのノウハウ・ドゥハウ」PHP 研究所 2005

◇ JDreamII 検索ガイド 科学技術振興機構 (JST) 最新版

◇ STNEasy 検索ガイド 最新版

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215896>

【対象学生】開講コース学生のみ履修可能

【連絡先】

⇒ 生物事務室(M棟703)

【備考】

- ◇ ゲストスピーカー (情報検索サービス機関講師) を招聘する場合もあり得る。
- ◇ 授業を受ける際には，1 時間の授業時間毎に 1 時間の予習と 1 時間の復習をしたうえで授業を受けることが，授業の理解と単位取得のために必要である。